

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-147	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 508	わくわく算数 5		

1

編修の基本方針

現在の社会では、グローバル化の進展や継続的な技術革新などにより急速な変化が進んでおり、その中では、様々な知識を整理・統合して理解する力が必要です。また、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなどの)結果によると、算数・数学の学力は上位に位置していますが、引き続き学習意欲面では課題があります。

このような社会・時代での自立の基礎となる資質・能力を培う視点から、全国学力・学習状況調査等での結果も含めた学習の課題なども踏まえ、次の3点を編修の基本方針としました。

① 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

③ 新しいものごとを理解し、創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができる教科書

さらに、「学びをつなげる」という視点で、教科書の素材・展開を見直し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫するとともに、学びやすく教えやすい教科書を目指しました。

① 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

(1) 日常の事象や既習事項とのつながりから単元を導入

単元の初めに『単元とびら』を設定し、数学的活動を通して、日常の事象や既習事項とのつながりから学習が始められるようにしました。

(p.16, 28, 34など)

『じゅんぴ』への
リンク

既習事項
 80×2 , 80×3

新しい学習
 80×2.3



p.34

(2) 基礎的・基本的な問題の充実

毎時の1のテーマの問題に対して、①の練習問題を適切な分量で設定しています。

また、単元途中に適宜『練習』、単元末に『たしかめよう』、各学期の中間、期末に『復習』、巻末に『じゅんぴ』、『もっと練習』のコーナーを設定し、**基礎的・基本的な内容の理解と定着**が確実に図れるようにしています。

(p.14, 43, 98-99, 248-255, 256-279など)

また、『復習』の問題のうち、**各種学力調査等**から判明したつまづきの多い学習内容には、★マークをつけ、間違いやすい問題だと意識して取り組めるようにしています。

復習

数と計算

★は、まちがいやすい問題

5年「整数と小数」

① にあてはまる数をかきましょう。
2と0.01と0.007をあわせた数は、です。

② 3.481は、0.001を個集めた数です。

★③ 8.2の100倍の数は、です。

④ 0.47の $\frac{1}{100}$ の数は、です。

★③ 8.2の100倍の数は、です。

p.98

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

(1) 筋道を立てて考えたり、多様に考えたりする場面の充実

既習事項を振り返りながら、新しい概念を筋道立てて考えていけるような展開にしています。

また、**多様な考え方**に触れられる場面を充実させ、友だちの考えとつなげて考えたり、判断したりすることで、**主体的・対話的で深い学びが実現**できるようにしました。

(p.36-37, 54-55, 134-135など)

児童にとっては、自らの考えをもつきっかけや、説明、話し合いの見本となるように、教師にとっては、そのような授業の参考となるようにしています。

自らの考えをもつきっかけ

話し合い

多様な考え方

36

37

(2) 統合的、発展的に考察する力を育むノートのかき方

巻頭の『わくわく算数ノート』では、考えがよくわかるような**ノートのかき方**の例を示し、自らの学習を振り返ったり、まとめたりすることで、学習の定着を図る習慣がつけられるようにしました。(p.8-9)

また、各単元末の『ふりかえろう』では、単元の学習を終えてわかったこと、できるようになったこと、もっとやってみたいことなどをノートに整理する際の例を示し、**統合的、発展的に考察する力**が育めるようにしています。

(p.15, 27, 51など)

『わくわく算数ノート』や『ふりかえろう』での活動が、自由研究などを**レポートにまとめる**ときにも役立つようにしています。

ふりかえろう

これまでに学んだことをふりかえって、

- わかったこと
- できるようになったこと
- もっとやってみたいこと

などをノートにかきましょう。

ひなた

整数と小数のしくみは同じで、10倍や100倍すると、小数点が右に移り、 $\frac{1}{10}$ や $\frac{1}{100}$ にすると、小数点が左に移ることがわかりました。

だいり

整数や小数を10倍、 $\frac{1}{10}$ にするときは、数字の位を上げたり、下げたりしていたけど、小数点を移す考え方もできるようになりました。

p.15

③ 新しいものごとを理解し、創造する能力と 主体的に学習する態度を養うことができる教科書

(1) 『めばえ』から『めあて』、『まとめ』へとつながる学習の流れ

児童が目的意識をもって主体的に学習を進められるように、学習の『めあて』を毎時間設定しています。

また、そのような新しい学習の『めあて』につながる考えや気づきを、この教科書では『学びのめばえ』と呼び、🌱のマークをつけて強調し、適宜掲載しています。

さらに、『めあて』と対応する学習の『まとめ』を適宜掲載することで、児童にとっては毎時の学習の流れが、教師にとっては毎時の授業の流れが、わかりやすくなるように工夫しました。

(p.24, 41, 62など)

めばえ

めあて

まとめ

24.5mのロープを5.6mずつに切って
わらびをつくります。
何本と、何m余りますか。

式 $\square \div \square = \square \text{ 余 } \square$

5.6 $\overline{) 24.5}$
2 24
2 1

余りは2mで
いいかな。

余りの数はわらびより
小さくなるはずだけど
確認しよう。

本できて、 $\square$ m余る。

わる数 $\times$ 商 $+$ 余り $=$ わられる数
 $\square \times \square + \square = \square$

余りの小数点の位置は、わられる数のものと同じ
とこです。

商を一の位まで求め、余りをかきましょ。
また、答えを確かめましょ。

① $18 \div 3.2$ ② $34 \div 2.4$ ③ $4.73 \div 2.6$

2Lのしょう油を、0.3Lはいるびんに分けていきます。
何本できて、何L余りますか。

62 もっと練習 261ページ

p.62

(2) より主体的に学習を進めていける『自分の力で』

既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には、🌱のマークをつけ、児童が主体的に学習を進めていけるようにしています。(p.88-89, 206-207)

自分の力で
2 帯グラフや円グラフを使って

自分たちで調べたいことをきめて、資料を集めて、
これまでに学習した表やグラフに整理しましょう。
また、調べたことからわかったことを話しましょう。

① 調べたい
問題をきめよう。

② 調べていくときの
計画を立てよう。

③ 資料を集めて、
わかりやすく
整理しよう。

身のまわりのことや、これまでに
学習したことなどから、調べてみたい
問題をみつめよう。

どのような資料が必要か、
どのように資料を集めるか、
などを考えよう。

資料を集めよう。
集めた資料を、これまでに学習した
表やグラフなどから、適切なものを
選んで整理しましょう。

206

p.206

(3) 児童の主体性を促すICTの活用

教科書紙面に、QRコードを掲載し、学習内容と関連する参考情報をスマートフォンやタブレットでデジタルコンテンツとして閲覧できるようにしました。(p.10, 14, 80など)

単元の入口で学習に入る準備ができるものや、単元の出口で学習した内容の確認ができるものも用意し、家庭で主体的に学習する際の参考にもなるようにしています。

3つの辺の長さ
8cm, 5cm, 7cm

ひなた

8cm
辺BCをかく。

5cm
半径5cmの円をかく。

p.80

2

対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号		
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	▶知識や教養を身につけ、真理を求める態度を養うという観点から、『教科書の使い方』、『学習の進め方』、『わくわく算数学習』、『わくわく算数ノート』を設定し、 自ら進んで学習する態度を養えるように しました。	p.2-9
	▶単元末に『やってみよう』のコーナーを設け、その単元で学習した内容を使って 真理を求める態度が養えるように しました。	p.15, 51, 149など
	▶学習内容に関連するコラムを設け、 幅広い知識と教養が身につけられるように しました。	p.45, 183, 227など
	▶三角形の底辺と高さに関するコラムで、三角形のどの辺を底辺としても公式を使って面積が求められることを具体的に紹介し、 真理を求める態度が養えるように しました。	p.133
第2号		
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	▶児童が課題に取り組む際、自分で考えたり、発表したりするなど 自ら進んで学習に取り組めるよう 配慮しました。	全体
	▶児童主体の学びとなるように課題発見となるキャラクターの吹き出しに『めばえ』マーク  をつけました。	p.10, 12, 16等多数
	▶宅配便の大きさや給食の食材など、生活の中から課題を見つけたり、算数を利用して身のまわりの問題を解決したりする場面を設定しました。	p.16, 202-203など
	▶『算数の自由研究』のコーナーを設け、個人の価値を尊重して 創造性を培うことができるように しました。	p.96-97
	▶土地の測量では、いろいろな形の土地の面積を三角形に分けて求めることもあることを紹介し、職業との関連を意識できるようにしています。	p.145
第3号		
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	▶ 自他の敬愛と協力を重んずる ように、『わかりやすく説明しよう 友だちの考えをよく聞こう』というコーナーを設けました。	p.280-281
	▶紙面デザインや配色にあたっては、個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるよう配慮しました。	全体
	▶性別による役割を固定せず、児童一人ひとりが 他人を尊重しながら、互いに協力し、学習を進めていけるよう 配慮しました。	p.100など全体
	▶『みらいへのつばさ』のコーナーでは、日本の食料自給率について児童個人や学級にとどまらず、地域の人とも取り組める場面を設け、 社会の形成に参画する態度が養えるように しました。	p.238-241
第4号		
生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	▶家庭で消費されるエネルギーについて考えることで、 環境の保全に寄与する態度が養えるように しています。	p.204-205
	▶食品ロスに関する資料について考えることで、 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度が養えるように しています。	p.277
第5号		
伝統と文化を尊重し、それらははぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	▶金箔の題材について考えることで、 伝統と文化を尊重する態度が養えるように しています。	p.94-95
	▶人文字では、外国人の児童と協力する場面を示し、 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるように しています。	p.92

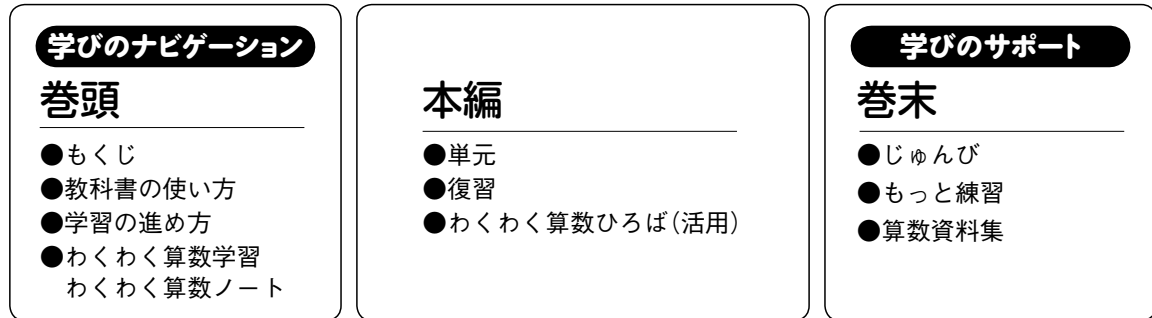
3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

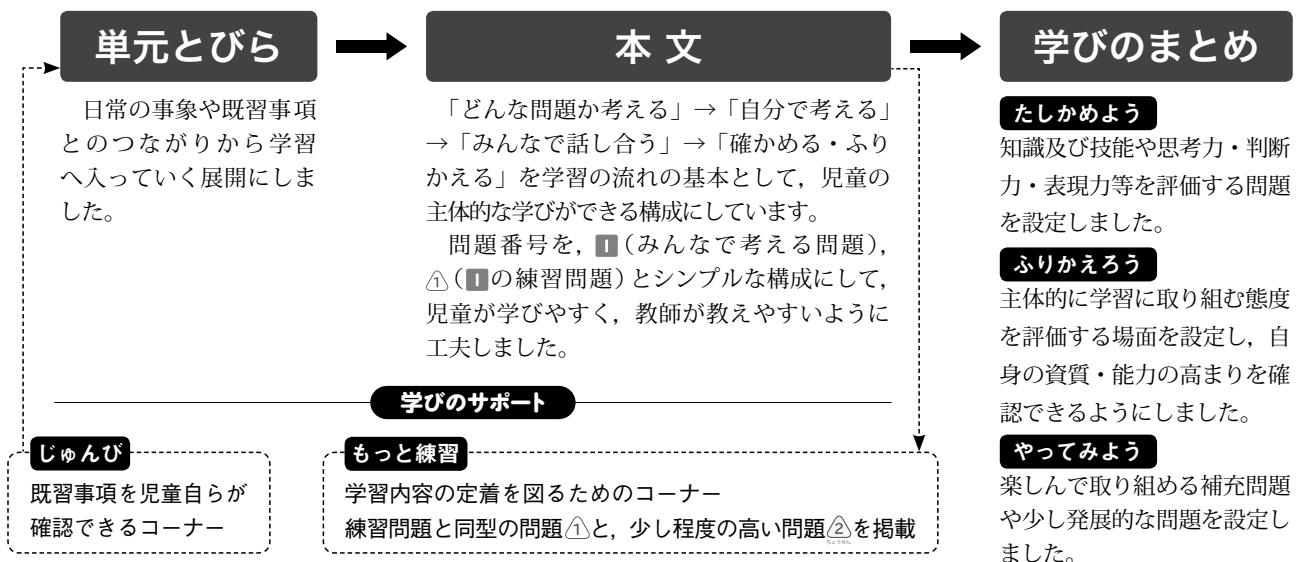
児童にとって学びやすく、教師にとって教えやすい教科書の構成、単元の流れにしました。

教科書の構成

『巻頭』、『本編』、『巻末』の3部構成で、『巻頭』を学びのナビゲーション、『巻末』を学びのサポートと位置づけて構成しています。



単元の流れ



巻頭、巻末

- 『わくわく算数学習』：第1時に配置し、1年間の学習に取り組む態度が養えるようにしています。
- 『算数資料集』：『わかりやすく説明しよう 友だちの考えをよく聞こう』、『算数でよく使う考え方』、『図のかき方』、『たしかめようの答え』、『じゅんびの答え』、『もっと練習の答え』、『4年生までのまとめ』、『5年生のまとめ』、『さくいん』、『切り取り教具』といった、様々な学習の場面で役立つ資料を掲載しています。

指導書

教科書をより有効にご活用いただくための資料として、朱註、解説書を用意しています。

朱註では、教科書本文の縮版を見ながら、指導の要点や補足事項などがわかるようにしています。

解説書では、より詳しい指導上の留意点を補足し、授業の準備などで活用できる内容を掲載しています。

また、授業案や板書案なども用意し、授業計画立案の資料としても利用できるようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-147	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 508	わくわく算数 5		

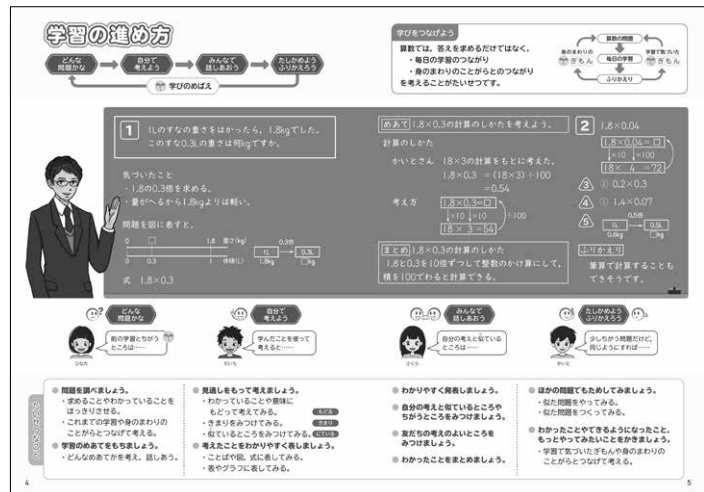
1 編修上特に意を用いた点や特色

① 多様なカリキュラムへの対応(カリキュラム・マネジメント)

(1) 学び方を身につける 巻頭の『学習の進め方』

巻頭の『学習の進め方』では、児童も教師も見通しをもって、学習を進めていくことができるように、算数を「どのように学ぶのか」をわかりやすく説明しています。

(p.4-5)



p.4-5

(2) 学んだことを活用する学期末の『わくわく算数ひろば』

日常の事象や既習事項について、学んだことを活用して問題を解決する内容を、『わくわく算数ひろば』として学期末にあたる場所にまとめて配置しました。これらのコーナーを関連する単元の直後などで扱うことで、多様なカリキュラムを編成することもできます。(p.92-97『人文字』、『どんな計算になるのかな』、『算数の自由研究』, p.186-187『見積もりを使って』, p.236-241『算数ラボ』, 『みらいへのつばさ』)

(3) 短時間学習にも対応し、知識・技能の定着が図れる『練習』、『復習』

『練習』や『復習』は、3つのブロックに分けて構成し、短時間学習で取り扱うこともできるようにしています。(p.25, 32-33, 43, 98-99など)

(4) 児童の主体的な学習を促し、家庭学習でも取り組める『学びのサポート』

巻末には、配当時数外のコーナーとして、学びのサポート(『じゅんぴ』、『もっと練習』、『算数資料集』)を用意しています。『じゅんぴ』は単元の学習に関する既習事項を児童自らが確認できるように、『もっと練習』は単元の学習内容の定着を図ることができるようにしています。(p.247-301)

さらに、『算数資料集』には、『たしかめよう』、『じゅんぴ』、『もっと練習』の解答をつけ、児童の主体的な学習を促し、家庭学習でも取り組めるようにしています。

② 学年の特色，つまずきの多い箇所への対応

(1) 割合の系統の見直し

児童の理解が困難とされる「割合」に関する系統を第3～第5学年で見直しました。特に，第5学年では，「割合」に関する単元を下記のように各学期に分散して配置し，繰り返し学習することで，定着が図れるようにしています。

1学期・前期：4.小数のかけ算(p.34-51)，

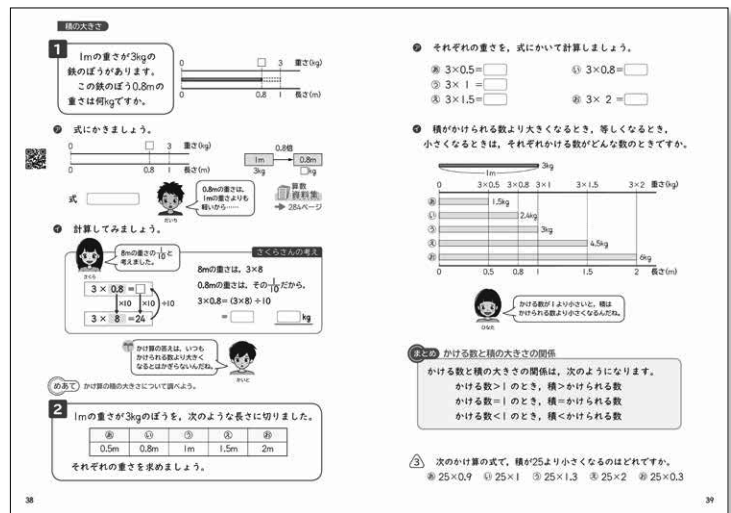
5.小数のわり算(p.52-73)

2学期・後期：13.割合(p.172-183)

3学期・後期：15.割合のグラフ(p.200-209)

(2) 小数の乗除の意味理解

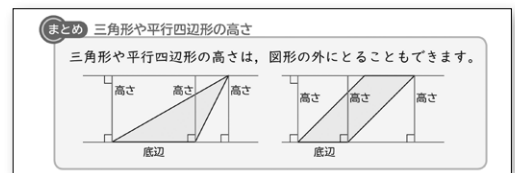
つまずきの多い「小数の乗除の意味理解」が図れるよう，「3.比例」の単元(p.28-31)を新設しました。また，小数×小数，小数÷小数の単元では，「純小数(1より小さい小数)」(p.38-39, 56-57)を従来よりもていねいに扱うようにし，小数の乗除の意味理解と計算の習熟が図れるようにしました。



p.38-39

(3) 面積(p.128-149)

三角形や平行四辺形の高さについて，いろいろなパターンを示すことで，その理解が深まるようにしました。また，三角形，平行四辺形の面積を導き出すまでの展開を見直し，児童が学びやすくなるように工夫しました。



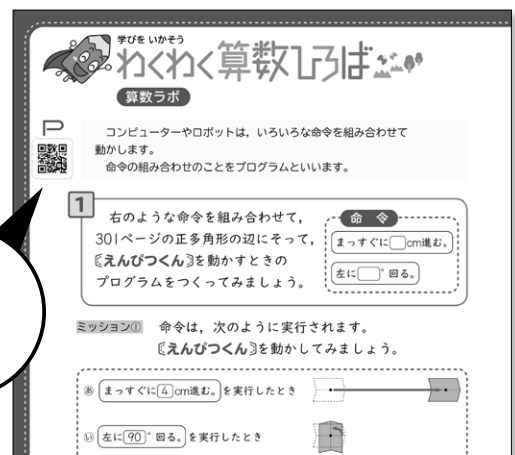
p.139

③ プログラミング的思考の育成

『算数ラボ』

『算数ラボ』では，活動を通してプログラミング的思考が育めるような課題を設定しています。巻末の切り取り教具を使ったり，QRコードを読み取った先にあるデジタルコンテンツを用いたりすることで，より活動的な学習を行うことができるようにしています。(p.236-237)

また，プログラミング的思考が育めるような内容の特徴的な箇所には，Pマークをつけ，意識できるようにしました。(p.102, 236)



p.236

◆観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法、 学習指導要領の 遵守	▶教育基本法に示された教育の目標を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶小学校算数の学習指導要領に沿った配列、内容・構成にしています。	
主体的・対話的で 深い学び	▶ 児童主体の学び となるように、課題発見となる子どもの考えや気づきを『学びのめばえ』として取り上げました。	p.10, 12, 16など
	▶ 多様な考え 方を充実させ、話し合いの場面も適宜設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしました。	p.36-37, 54-55, 134-135など
	▶既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には『自分の力で』というマークをつけ、児童が主体的に学習を進めていけるようにしています。	p.88-89, 206-207  自分の力で
基礎・基本の定着	▶ 全国学力・学習状況調査等 の調査で、課題とされている内容について、ページを増やして展開したり、図や説明をていねいにしたりして、理解が図れるようにしました。	p.56-57(商の大きさ)、 62(余りの小数点の位置) など
	▶巻末の『じゅんぴ』には、単元の学習に関する既習事項を、児童自らが確認できるようにしています。	p.248-255
	▶巻末の『もっと練習』には、本文の練習問題と同型の問題(①)と少し程度の高い問題(②)をおき、学習内容の定着が図れるようにしました。 習熟度別学習 でも使えるようになっています。	p.256-279
	▶『練習』、『復習』を適切に配置し、 基礎・基本の定着 が図れるようにしています。	p.25, 32-33, 43, 98-99など
学びの見通し・ 振り返り	▶目次では、各単元に関連する既習の単元を、それを学習する学年とあわせて提示し、学びのつながりがわかるようにしています。	表紙裏-p.1
	▶児童が目的意識をもって主体的に学習を進められるように、学習の『めあて』を毎時間設定しています。また、学習の『めあて』につながる考えや気づきとなる『学びのめばえ』を適宜掲載しています。さらに、『めあて』に対応する学習の『まとめ』を適宜掲載することで、学習の流れがわかりやすくなるように工夫しました。	p.12, 18-19, 20など
	▶単元末には『ふりかえろう』を設定し、単元の学習を終えてわかったこと、できるようになったこと、もっとやってみたいことなどをノートに整理する際の例を示し、 統合的、発展的に考察する力 が育めるようにしています。	p.15, 27, 51など
	▶『4年生までのまとめ』、『5年生のまとめ』で学習内容の重要事項をまとめ、児童自身で学習内容を振り返りやすいようにしています。	p.292-295
資質・能力の 育成と 学力向上	▶単元末の『たしかめよう』では、 思考力・判断力・表現力等 を問う問題も設定しました。また、『やってみよう』で、思考力のさらなる育成を目指しました。	p.14-15, 26-27, 50-51など
	▶『ふりかえろう』では、何がわかったか、何ができるようになったかなどを振り返って、児童自身の資質・能力の向上を確認できるようにしました。 (学びに向かう力・人間性等)	p.15, 27, 51など
	▶『練習』、『復習』でも、適宜 思考力・判断力・表現力等 を問う問題を用意しています。	p.25, 32-33, 43, 98-99など
評価	▶単元末の『たしかめよう』、『ふりかえろう』、『やってみよう』では、児童自身の 自己評価や相互評価 などができるようにしています。	p.14-15, 26-27, 50-51など
分量、 内容・配列	▶年間配当時数は158時間とし、標準時数(175時間)よりも余裕をもたせた分量で構成しています。	全体
	▶内容の系統性とあわせて、指導時期も考慮した配列にしています。	
教科の有用性	▶算数の授業の中だけでなく、学校生活や家庭、地域を学びの場とする活動を設定しました。	p.16, 100, 202-203など
	▶『学びをいかそう』では、身のまわりにある算数を見つけたり、身のまわりの問題に算数を活用したりして、算数を学ぶ意義が感じられるようにしました。	p.23, 157, 186-187など
数学的な見方・ 考え方	▶「子どもの考え」の事例や「吹き出し」、単元末の『ふりかえろう』で、ものごとの特徴や本質をとらえる視点や、学習した内容を統合的、発展的にとらえることなどを示しています。	p.36-37, 51, 82など
数学的活動の 充実	▶『単元とびら』では、日常の事象や既習事項から問題を見いだすような場面にし、それらを解決していくようにしています。	p.16, 28, 34など
	▶『学びをいかそう』では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動を取り入れています。	p.23, 157, 186-187など
	▶課題に対して、自分の考えを説明したり、複数の考え方について、数学的に表現し伝え合う場面を適宜設定しています。	p.6-7, 36-37, 86-87など
言語能力の育成・ 言語活動の充実	▶児童が 自らの考えを他人に伝える ことができるよう、わかりやすく説明したり、友だちの考えをよく聞いたりする活動を取り上げました。	p.6-7, 280-281など

観点	留意点	該当箇所
他教科との関連	▶体育科との関連として、倍数、公倍数を考える題材にダンスの組み分けを取り上げました。	p.102-103
	▶音楽科との関連として、割合を考える題材に学習発表会で演奏する楽器の定員と希望者の数を取り上げました。	p.172-174
	▶道徳科との関連として、説明する場面や、話し合いの場面を設け、自分の考えや意見を相手に伝えるときに、自分と異なる意見や立場も尊重できるようにしています。	p.6-7, 36-37, 86-87など
	▶国語科との関連として、文章から必要な情報を読み取って問題解決する問題を設定しています。また、全体的に専門家の監修を受けています。	p.67, 94-95など
家庭学習・自学自習への対応	▶『たしかめよう』、『じゅんぴ』、『もっと練習』は巻末の『算数資料集』に解答をつけ、家庭学習や自学自習で取り組むこともできるようにしています。	p.248-279
	▶『保護者の方へ』を裏表紙に掲載し、家庭との連携を促しています。	裏表紙
カリキュラム・マネジメント	▶『じゅんぴ』では、単元の学習に関する既習事項を児童自らが確認できるようにしました。	p.248-255
	▶『練習』『復習』は3つのブロックに分けて構成し、短時間学習で取り扱うこともできるようにしました。	p.25, 32-33など
	▶各学期に予備時数を設け、多様なカリキュラムに対応しやすくしました。また、活用コーナーを『わくわく算数ひろば』として学期末に取り扱えるようにしました。	p.92-97, 186-187, 236-241
今日的な課題への対応	▶防災マップを取り上げて、防災教育へつながるようにしました。	p.157
	▶家庭で消費されるエネルギーについて考えることで、環境を大切にすることを育むなど環境教育、ESDへとつながるように配慮しました。	p.204-205
	▶食品ロスに関する資料について考えることで、環境教育や食育についても取り扱えるようにしました。	p.277
特別支援、ユニバーサルデザインへの対応	▶特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(共育)に配慮しました。	全体
	▶温かみのある優しい色使いで、シンプルなデザインにしました。MUD協会による検証を受けています。	
	▶フォントは識別しやすい書体(UD書体)を採用しました。	
	▶文章を理解しやすいように、意味改行をしています。	
	※デジタル教科書や拡大教科書を用意し、子どもたちの様々な学習の仕方にも対応できるようにしています。	
人権、福祉、国際理解、ジェンダー	▶子どもの写真やイラストについては、性別による役割を固定することなどなく、互いに協力しながら活動できるよう、性別・人種などについても十分配慮しています。	p.100など
家庭や地域との連携	▶巻末の『学びのサポート』では、家庭学習でも取り組めるような問題を用意しています。	p.247-301
	▶各都道府県で行われている「統計グラフコンクール」の作品を取り上げています。	p.205
	▶裏表紙には、保護者に向けたメッセージを掲載しています。	裏表紙
プログラミング学習	▶『算数ラボ』などにプログラミング的思考を活動を通して学習できるような課題を設定しています。	p.102, 236-237 
ICTの活用	▶ICTが有効な場面では、紙面にQRコードを掲載し、ICT機器の利用により、学習の助けになる動画、補充問題等の参考情報を参照できるようにしました。特に、単元の入口では、『じゅんぴ』に関する情報を、単元の出口には、『たしかめよう』に関する情報を用意しています。 ※QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように裏表紙にURLを記載しました。	p.10, 14, 18など
印刷・用紙・製本	▶開きやすく、紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすい「あじろ綴じ」製本形式を用い、軽くて印刷が鮮明な用紙を採用しました。	
	▶学習において操作活動が有効に働く場面では、巻末に切り取り教具を用意しました。	
	▶再生紙と植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しました。	
	▶5年では、「全体の中で関係性がとらえられる子ども」像を想定し、児童自身が1年間を見通したり、振り返ったりしながら学習が進められるように年間1冊の合冊という中学校数学と同様の形態にしました。	

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
★わくわく算数学習	第 2(1)	p.6-9	1
1. 整数と小数	A(2)ア(ア) イ(ア)	p.10-15	4
2. 体積	B(4)ア(ア)(イ) イ(ア)	p.16-27	9
3. 比例	C(1)ア(ア) イ(ア)	p.28-31	2
*復習	第 1(2)	p.32-33	1
4. 小数のかけ算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) C(3)ア(ア)	p.34-51	11
5. 小数のわり算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) C(3)ア(ア)	p.52-73	14
6. 合同な図形	B(1)ア(ア)(イ) イ(ア) 内(2)	p.74-91	11
◎人文字	第 2(1)	p.92-93	1
◎どんな計算になるのかな	第 2(1)	p.94-95	1
◎算数の自由研究	第 2(1) 内(2)	p.96-97	1
*復習	第 1(2)	p.98-99	1
7. 整数	A(1)ア(ア)(イ) イ(ア) 内(1)	p.100-111	10
8. 分数(1)	A(4)ア(ウ)(エ) イ(ア)(5)ア(ア) イ(ア)	p.112-123	9
◎図を使って考えよう	第 2(1)	p.124-125	2
*復習	第 1(2)	p.126-127	1
9. 面積	B(3)ア(ア) イ(ア) C(1)ア(ア) イ(ア)	p.128-149	13
10. 平均とその利用	D(2)ア(ア) イ(ア)	p.150-157	6
11. 単位量あたりの大きさ	C(2)ア(ア) イ(ア)	p.158-163	4
12. 分数(2)	A(4)ア(ア)(イ) イ(イ) C(3)ア(ア)	p.164-171	5
13. 割合	C(3)ア(ア)(イ) イ(ア) 内(4)	p.172-183	9
◎表を使って考えよう(1)	第 2(1)	p.184-185	2
◎見積もりを使って	第 2(1)	p.186-187	2
*復習	第 1(2)	p.188-189	1
14. 円と正多角形	B(1)ア(ウ)(エ) イ(ア) C(1)ア(ア) イ(ア) 内(3)	p.190-199	7
15. 割合のグラフ	D(1)ア(ア)(イ) イ(ア) 内(5)	p.200-209	6
*復習	第 1(2)	p.210-211	1
16. 角柱と円柱	B(2)ア(ア) イ(ア)	p.212-219	6
17. 速さ	C(2)ア(ア) イ(ア)	p.220-227	6
18. 変わり方	A(6)ア(ア) イ(ア) C(1)ア(ア) イ(ア)	p.228-233	3
◎表を使って考えよう(2)	第 2(1)	p.234-235	2
◎算数ラボ	第 2(1)(2)	p.236-237	1
◎みらいへのつばさ	第 2(1)	p.238-241	2
*もうすぐ6年生	第 1(2)	p.242-246	3
★学びのサポート	第 1(2) 2(1)(3)	p.247-301	—
		標準時数175 (予備時数)	計158 (17)

記号の意味:

◎…活用・問題解決のページ ★…特設ページ

内…内容の取扱い 第…第3 指導計画の作成と内容の取扱い

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-147	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 508	わくわく算数 5		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
111	学びをいかそう やってみよう	1	A(1)ア(イ) イ(ア) (約数及び観点を決めて整数を類別する仕方を考えること に関連して、素数の用語を扱います。)	0.75
233	多角形の頂点の数と 角の大きさの和の関係	1	C(1)イ(ア) (伴って変わる2つの数量の関係を調べる学習に関連 して、多角形の頂点の数と内角の和の関係を表す式を 扱います。)	0.75
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容